

電池は正しく使用し、保管方法を守ってください

圧力が加わって爆発

事例

携帯電話から取り外していた電池パックが発火して爆発し、3mほど飛んでベッドとクッションが焦げた。
(2008年5月 沖縄県)

原因

膨らんできた電池パックを、机にぶつけてへこまそうとしていました。圧力を加えたために内部でショートして異常発熱し、電解液の急激な膨張により発火したものです。

逆装てんで液漏れ

事例

DVDプレイヤーの電池ボックスを外して置いていたら液漏れし、液に触れた指が化学やけどでかぶれた。
(2010年6月 愛知県)



原因

電池の1本を逆装てんしたため、電池が充電されて圧力が上昇しました。破裂を防止するために安全弁が作動して電解液が漏れたものです。
なお、漏れた液には触らないでください。指などについていた場合はすぐに水で洗い流してください。

まとめて保管したために破裂

事例

電池を10個ほど入れていた巾着袋をテーブルの上に置いたら、ボンという音がして煙が出て、袋が焦げた。
(2009年11月 神奈川県)

原因

買い置きのボタン電池の包装をはがして複数の電池と同じ袋に入れていたため、他の電池の金属外郭を通じてショートし、内圧が上がって破裂したものです。



電池を落とすなど圧力を加えないでください。電池内部でショートして破裂し、発火の原因となります。保管するときは、他の電池や金属製のものと接触しないように注意してください。電極間がショートしないようにビニールテープなどで絶縁してください。
電極の逆装てんや、新旧の電池を混ぜて使うと液漏れしますので注意してください。

化学やけどとは？

酸、アルカリなどの化学薬品によるやけどは熱によるやけどとは違います。見た目は、普通のやけどのようですが、化学薬品を除いても皮膚の深い部分に進んで深いやけどになります。

照明器具の落下や転倒で事故が起こっています

ライトが倒れて発火

事例

玄関のセンサーライト倒れ、ダンボール等が燃えて廊下が焦げた。
(2011年4月 島根県)

原因

センサーライトを固定しないで下駄箱の上に置いていたために倒れ、落下したランプの熱で近くに置いていたダンボールに火がついたものです。



カバーが落下、顔に当たって重傷

事例

照明器具に取り付けられていた木枠付きシェードカバーが外れて落下し、顔に当たって重傷を負った。
(2008年11月 神奈川県)

原因

照明器具の取り付け方法を誤ったために、シェードカバーが落下したものです。



器具の取り付けは、取扱説明書に従って行ってください。
器具やランプを布や紙等で覆ったり、近くに可燃物を置いたりしないでください。熱により発煙・発火することがあります。
ランプを落としたり、物をぶついたり、無理な力を加えないでください。ガラス表面に傷がつき、破損することがあります。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

